



NPO法人ドットジェイピー実施

若年層対象：10月度意識調査結果

# 鳩山政権の政策に関する 意識調査

—— **8割**の若者が「政府の政策説明が不十分」と回答 ——

文責：村岡正規

(ドットジェイピー・プロモーションCFT)

# はじめに

---



2009年10月11日～10月18日の1週間、  
若年層（18歳～25歳）を対象に  
鳩山政権と、その政策の好感度に関する調査を実施いたしました。

政権の政策に関する若年層の意識を把握することがねらいです。

全国の大学生**2318名**に回答をいただきました。

以下、今回の意識調査の結果をご報告いたします。

# 本レポートの目次

---

---

## ◆ 調査概要

1 : 概要

2 : 調査アンケート質問項目

## ◆ 調査対象報告

## ◆ 調査結果報告

1 : 政策情報の入手チャンネル調査

2 : 6政策に関する若年層の好感度調査

(高速道路無料化・子ども手当・インド洋給油延長・温室効果ガス25%削減・八ツ場ダム建設・脱官僚依存)

3 : 政権の政策説明に関する意識調査

4 : 政権の好感度調査

# 調査概要

---

## ◆概要

【対象】 大学生を含む全国の若年層人口 (18歳～25歳) **2318名**

【期間】 2009年10月11日～10月18日

### 【調査目的】

鳩山政権が掲げる6政策に関する好感度、  
新政権への期待度について、  
若年層がどのように考えているかを調査することを目的とする。

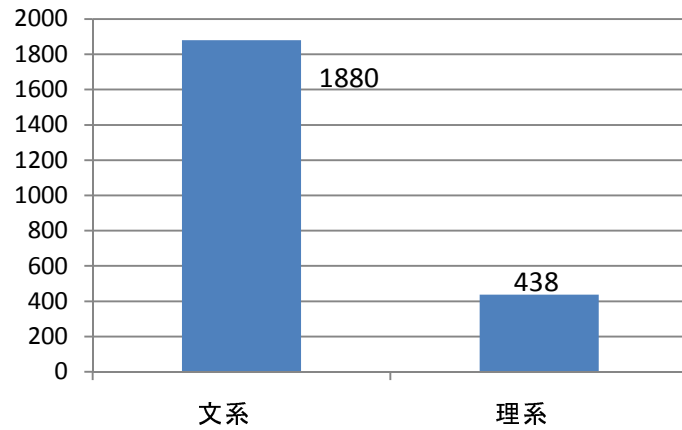
### 【調査方法】

WEBアンケート (弊団体学生スタッフの配信)

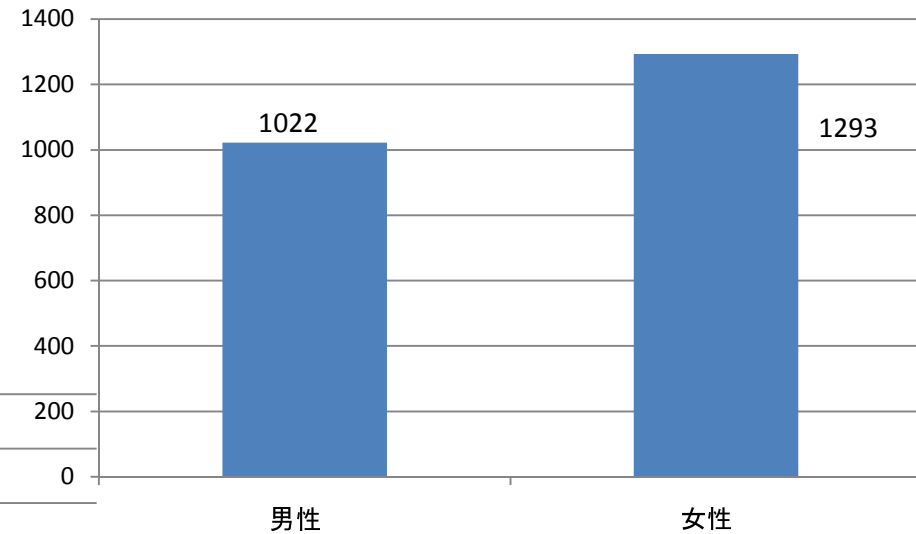
紙媒体アンケート (弊団体学生スタッフが回収)

# 調査対象報告

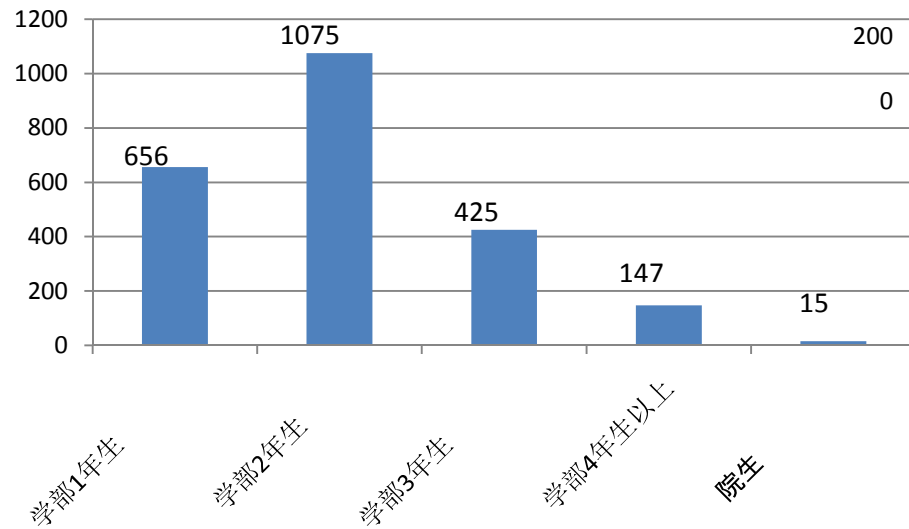
# 調査対象報告



◆文理別



◆男女別



◆学年別

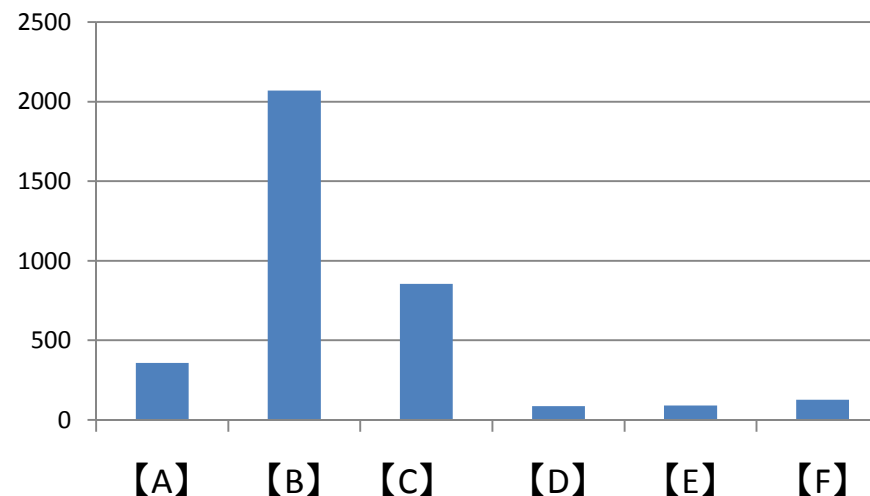
# 調査結果報告

# どのように政策情報を入手しているか

「テレビやニュースによる報道」が2000人と群を抜いて多く、  
続いて、「インターネットによるニュース」が855人で2番目につけた。  
また、「衆議院議員選挙のマニフェストを見た」と答えた学生は359人にも上った。  
前回衆議院議員選挙では、大学生を中心とする若年層にもマニフェストが  
浸透し始めているようだ。  
一方、「政治情報サイトから」は87人と全体的に見て少なく、  
まだまだ若年層には認知されていないと考えられる。

◆ 民主党の政策に関する情報は、どこから入手されていますか。

【A】 衆議院議員選挙のマニフェストから	359
【B】 テレビ・新聞などの報道から	2070
【C】 インターネットのニュースから	855
【D】 政治情報サイトから	87
【E】 民主党のホームページから	91
【F】 その他	126



# 高速道路無料化に関して

『高速道路無料化』に関しては、「無料化には反対だ」と回答した人の数が、「ぜひ無料化してほしい」「懸念点はあるが、無料化されても構わない」と回答した人の数を合わせたものに並んだ。

この政策に関しては、若年層の間でも、意見が分かれている。

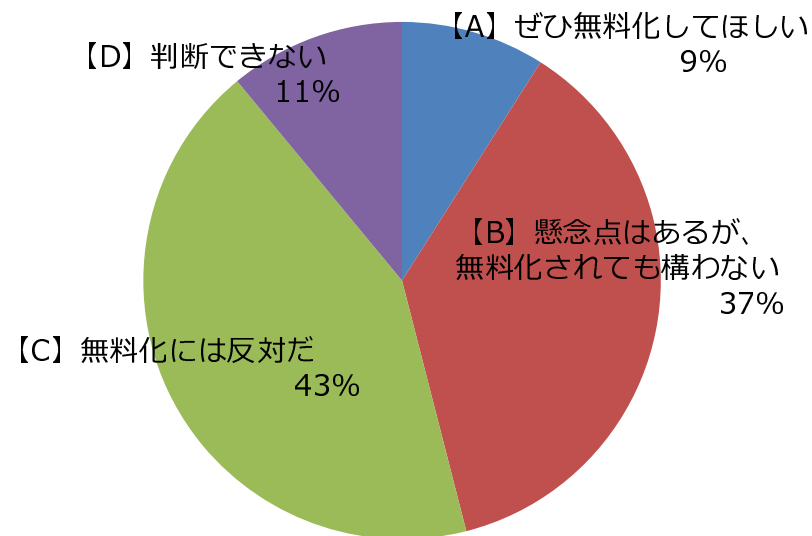
懸念点がある、および反対と回答した人のうち、「将来の税負担の増加」「利用者増加による渋滞」をあわせた回答が、およそ60%にのぼった。

◆ 「高速道路が無料化される」ことに対してどうお感じになりましたか。

【A】ぜひ無料化してほしい	212
【B】懸念点はあるが、無料化されても構わない	859
【C】無料化には反対だ	1008
【D】判断できない	239

※ 【B】あるいは【C】と答えた理由

・ 将来の税金などの負担が増えるから	635
・ 利用者増加につき、渋滞が頻発するから	528
・ 高速道路の利用頻度によって、 不平等が生じる可能性があるから	269
・ 本当に無料にできるのか不安だから	142
・ その他	326



# 子ども手当支給に関して

『子ども手当』の支給に関しては、「ぜひ支給してほしい」  
「懸念点はあるが、支給されても構わない」と答えた学生が全体の60%を占めた。  
「支給に反対である」と答えた学生は、およそ25%であった。

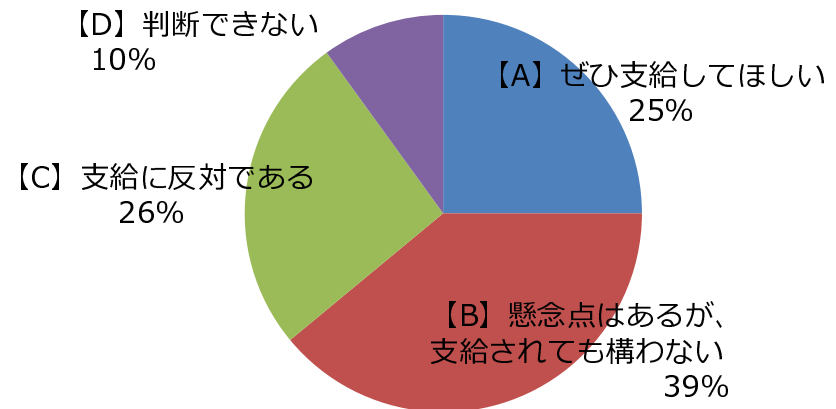
反対している、あるいは懸念点がある理由として最も多かったのが  
「財源が不安だから」で、40%近くの回答があった。  
「子どもがいない家庭には不公平だから」「将来に影響がでないか不安だから」  
は、ほぼ同数であった。

◆ 「子ども手当」の支給について、どうお感じになりましたか。

【A】ぜひ支給してほしい	587
【B】懸念点はあるが、支給されても構わない	888
【C】支給に反対である	611
【D】判断できない	232

※ 【B】および【C】を選んだ理由

・子どもがいない家庭には不公平だから	324
・財源が不安だから	591
・税金の負担など、 将来に影響がでないか不安だから	374
・その他	243

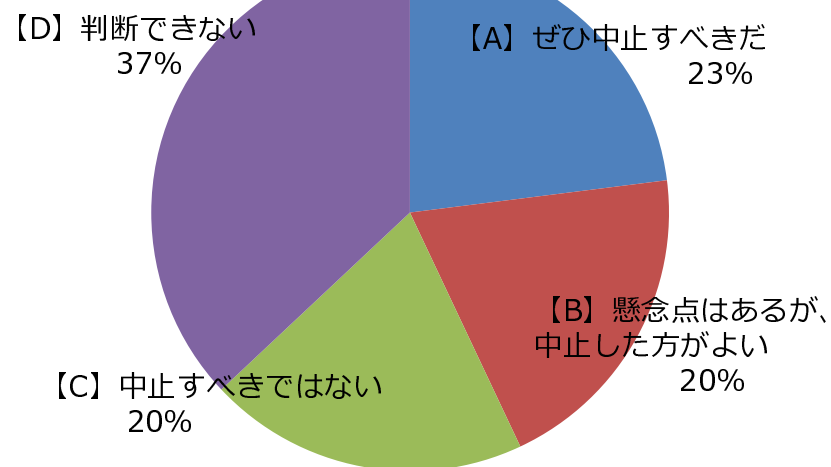


# 自衛隊のインド洋給油活動に関して

『自衛隊のインド洋における給油活動』に関しては、「中止すべきだ」「懸念点はあるが、中止した方がよい」「中止すべきではない」の、いずれも回答数は拮抗していた。懸念、および反対のうち、理由として「アメリカとの外交関係」を選んだ人が最も多かった。一方、「判断できない」と回答した人が878人と多く、外交・防衛問題は難しいと捉えている人が、全体の37%に及んでいることが浮き彫りになった。

## ◆ 「給油活動の中止」について、どうお感じになりましたか。

【A】 ぜひ中止すべきだ	529
【B】 懸念点はあるが、中止した方がよい	454
【C】 中止すべきではない	457
【D】 判断できない	878



### ※ 【B】 および 【C】 を選んだ理由

・ 自衛隊も世界平和に貢献すべきだから	242
・ アメリカとの外交関係に影響がでるから	555
・ その他（自由記述）	164

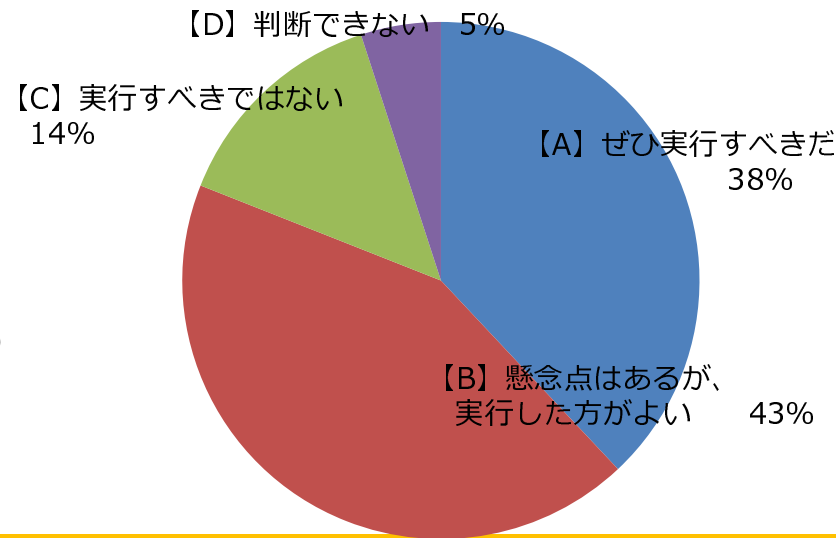
# 温室効果ガス削減目標に関して

鳩山首相が宣言した『温室効果ガス25%削減目標』に関しては、  
「ぜひ実行すべきだ」「懸念点はあるが、実行した方がよい」が、合わせて80%以上を占めた。「実行すべきではない」を選んだ人は、全体の14%にとどまった。

「懸念点はある」、および「反対である」を選んだ人のうち、約半数は「実現できるかわからないから」を選択しており、削減目標を立てたものの、実現の可能性が低いと感じている人が多かった。

◆ 「温室効果ガス25%削減」について、どうお感じになりましたか。

【A】 ぜひ実行すべきだ	892
【B】 懸念点はあるが、実行した方がよい	983
【C】 実行すべきではない	332
【D】 判断できない	111



※ 【B】 および 【C】 を選んだ理由

・ 実現できるかわからないから	650
・ 物価の上昇など、日常生活に影響が出るから	136
・ 製造コストの上昇など、日本の産業に負担がかかるから	271
・ 日本単独で行動しても効果が薄いから	169
・ その他	133

# 「八ツ場ダム」建設中止に関して

群馬県「八ツ場ダム」建設中止の決定に関しては、「ぜひ実行すべきだ」「懸念点はあるが実行した方がよい」と回答した人が、「実行すべきでない」と回答した人を上回った。なお、「実行すべきでない」と回答した中で、「中止しても莫大な費用がかかるから」という理由が、42%と最も多くを占めている。

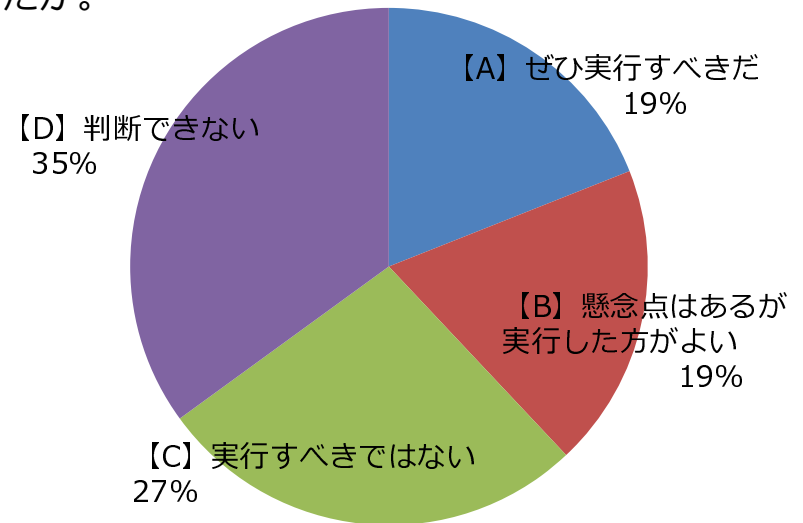
一方で、「判断できない」と回答した人は、中止した方がよいと回答した人とほぼ同数であった。判断が難しいと考える人が多いようだ。

## ◆ 「八ツ場ダム建設中止」について、どうお感じになりましたか。

【A】ぜひ実行すべきだ	425
【B】懸念点はあるが、実行した方がよい	428
【C】実行すべきではない	642
【D】判断できない	819

### ※ 【B】および【C】を選んだ理由

・治水の代替案が提示されていないから	86
・すでに着工が始まっていて、中止しても莫大な費用がかかるから	482
・中止後の住民への補償が不明瞭だから	397
・実感がわからないが、なんとなくそう感じたから	43
・その他	114



# 「脱官僚依存」政策に関して

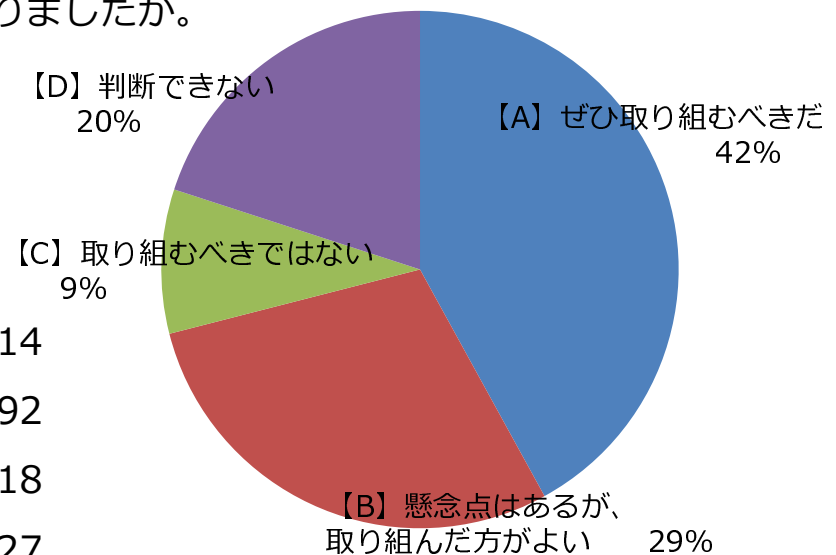
鳩山政権が掲げた『脱官僚依存』に関する政策に関しては、  
「ぜひ取り組むべきだ」「懸念点はあるが、取り組んだ方がよい」と回答した人を合わせると70%以上を占め、広く支持されていることがわかる。  
「取り組むべきではない」と回答した人は、全体の10%以下にとどまった。  
一方、「懸念点はある」および「反対である」の回答のうち、  
「いまの政治家では官僚を使いこなせそうにないから」が20%以上あった。  
「脱官僚依存」に期待しつつも政治家の力量を疑問視する声は少なくないようである。

## ◆ 「脱官僚依存」という言葉を聞いて、どうお感じになりましたか。

【A】ぜひ取り組むべきだ	975
【B】懸念点はあるが、取り組んだ方がよい	677
【C】取り組むべきではない	204
【D】判断できない	462

※【B】および【C】を選んだ理由

・具体的にどんな取り組みをするのか、わからないから	314
・官僚がいなければ、党の政策が実行されないから	292
・いまの政治家では、官僚を使いこなせそうにないから	218
・その他	127



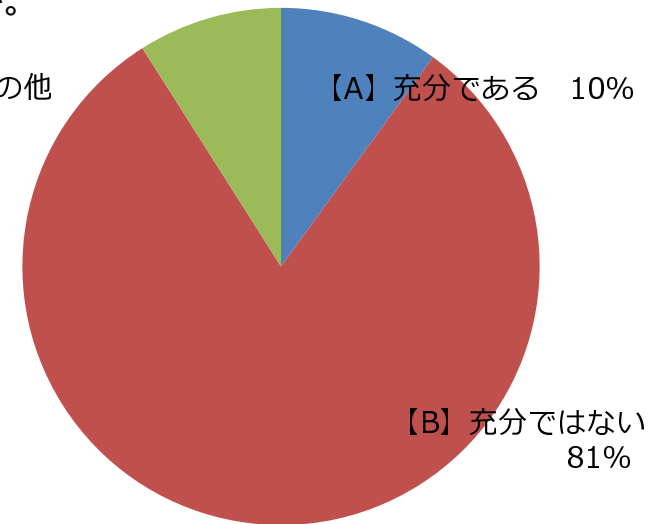
# 政権の政策説明に関して

今回、意識調査を行った新政権の政策について、政府からの「説明は充分だ」と回答した人はわずか10%にとどまり、一方で「充分ではない」と回答した人は80%以上にのぼった。いずれの質問に関する回答にも「懸念点はあるが、取り組んだ方がよい」が多数を占めており、その懸念点を解消するためにも、政府からのより一層の国民、特に将来を担っていく若年層への説明が求められている。

◆以上の6政策について、政府からの説明は充分だと感じますか。

・ 充分である	235
・ 充分ではない	1876
・ その他	205

【C】 その他  
9%



# 政権の好感度調査

最後に、鳩山政権に関する好感度を調査した。  
政権が発足してからわずか1カ月であり、判断材料が少ないこともあり、「わからない」と回答した人が40%を超えた。  
また、「期待できる」と回答した人は「期待できない」と回答した人を5%程度上回っている。

世論調査によると、「政権を支持する」と答えた人が60%を超えているが、若年層に限ってみると、政権に対して慎重な見方も多いようだ。

## ◆ これからの民主党政権に期待できますか。

・ 期待できる	730
・ 期待できない	597
・ わからない	1006

